参加申し込み方法

①体験プログラム「一覧表」の中から、参加したいプログラムを選びます。

※ここに掲載している単発型の活動以外に、継続型の活動の募集もあります。松原市社会福祉協議会ホームページで、ボランティア募集中の情報一覧を見ることができます。

ＵＲＬ：http://www.matsubarashakyo.net

②「ボランティア活動(希望)者連絡先記入シート（短期用)」を印刷し、必要事項を記入してください。

③活動を希望される**10 日前までに、**まつばらボランティアセンターへ、シートを持参してください。

（ボランティアセンターへ来てからシートに記入することもできます。）

④ボランティアセンターまたは活動希望者から、活動先（施設・団体）へ連絡し、受け入れ可能かどうか確認します。

活動先が決まれば、活動希望者から活動先へ必ず事前に連絡を取って、持ち物、集合時間などの確認をしてください。

⑤活動日までに「楽しいボランティアのためのお願い」をよく読んで、ボランティア活動当日に備えてください。

＜連絡先＞

社会福祉法人松原市社会福祉協議会

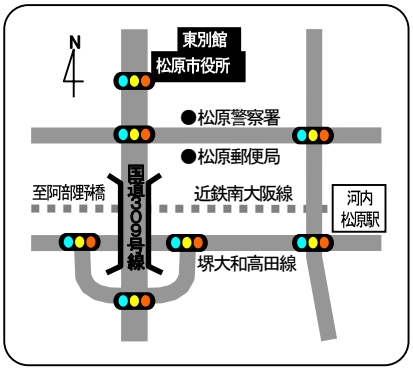
まつばらボランティアセンター

〒580-0043　松原市阿保 1-1-1

松原市役所東別館 3 階

TEL：072-339-0741

FAX：072-335-0294



ボランティア活動(希望)者 連絡先記入シート 短期用

社会福祉法人 松原市社会福祉協議会
まつばらボランティアセンター
TEL 072-339-0741 FAX 072-335-0294

連絡先			
ふりがな お名前	生年月日 年 月 日	記入日 年 月 日	受付No.
ご住所 〒	TEL FAX 携帯電話 E-mail	●該当するところにチェック☑ □ 会社員 □ 自営業 □ パート・アルバイト □ 無職 □ 学生 □ その他（ ） ●よろしければ会社名・学校名などをお教え下さい （ ）	

●希望するボランティア活動

募集No. .....

活動先 .....

活動内容 .....

.....

●現在、ボランティア活動をしていますか？

□ していない
□ している
□ 以前したことがある

→ どんな活動ですか？

●ボランティア活動の日時はどのようにしたいですか？

□ 大体いつでも時間がとれる
□ 特定の日時に活動したい
曜日（ 月・火・水・木・金・土・日 ）
時間（ : ～ : ）

□ 時間がとれるのは不定期なので、そのつど相談

<頻度> □ 週・月・年＿＿＿回程度
□ 1回（＿＿＿日）のみ

<備考>

.....

.....

●電話で連絡がとりやすいのはいつですか？

□ 大体いつでも連絡がとれる
□ 指定 曜日（ 月・火・水・木・金・土・日 ）
時間（ : ～ : ）

<備考>

.....

.....

●あなたが好きなこと、楽しいと思うことは？
（今夢中になっていること、趣味、生きがい等々）

●どんな特技や資格を持っていますか？
（～ができる、～が教えられる、～の免許がある等々）

●今後、ボランティアセンターから情報をお送りしてよろしいですか？

□ 送ってよい →（年数回、郵送等で随時、ボランティア募集情報や講座・イベント案内などをお送りします）
□ 情報提供は いらない

※ご記入いただいた情報はボランティアセンターで管理し、ボランティア事業以外の目的には使用いたしません。

●事務局記入欄	対応内容	決定・結果（No.・活動先・内容・日時）
□ V保険の説明 □ 受入先の紹介 連絡日＿＿＿ 対応者＿＿＿ □ 顔合せ（見学）実施日時＿＿＿ 対応者＿＿＿ 職員同行＿＿＿	.....	.....
備考・通信欄		

ボランティア体験プログラムに参加されるあなたに

楽しいボランティアのためのお願い

①プログラムを申し込む前に・・・

○自分の気持ちを確認しよう

ボランティアを有意義に行うために、「こんな体験をしたい」「こんなことが楽しみ」というような、「積極的な動機」を自分の中で確認しておきましょう。

○ボランティア体験する施設・グループについて学習しよう

体験する施設・グループの特徴について、事前に社会福祉協議会へ問合せしたり、本やインターネット等で調べておくことで、より有意義なボランティア体験となるでしょう。

○不安なことや心配なことは相談しよう

体験に関する不安なことや心配なことがあれば、気軽に社会福祉協議会へ相談しましょう。

②ボランティア体験が始まったら・・・

○利用者の生活を尊重しよう

体験先では、利用者の生活・活動が最優先です。「相手が何を望んでいるか」、相手の立場になって考えることが大切です。利用者の自立を損なうような過剰なかかわりにも注意してください。

○プライバシーを守ろう（秘密は口外しない）

体験で知り得た利用者のことなど、個人情報は絶対に外にもらしてはいけません。利用者との話の内容や質問内容にも十分配慮しましょう。

○マナーを守ろう

活動先には、職員やスタッフ、利用者など様々な人がいます。マナーを守って、みんなが気持ちよく活動できるように心がけましょう。
また、衛生面・健康面には特に注意をしてください。

【注意点】
- 挨拶・返事は欠かさずきちんと行うこと。
- 健康管理に気をつけること。（うがい・手洗いを忘れずに。体調の悪いときは早めに相談すること。）
- 携帯電話の電源は必ず切っておくこと。
- ボランティア体験に必要のないものや貴重品は持っていかないこと。
- 服装は「体験のときに着用するもの（動きやすい服装）」を活動の内容を想定しながら考えること。暑い季節なので帽子やタオル、飲み物は必須です。ノースリーブやミニスカートなど身体露出のあるものは禁止。サンダルやぞうり等も適しません。
- 身だしなみは清潔で相手に好感をもたれるよう気をつけること。（アクセサリーは禁止。無精髭や過度の化粧・香水に気をつける。爪や髪にも注意。）

○スタッフの指示を守ろう

体験先では、それぞれの取り組み方針があり、利用者への援助の内容や目的も個々に違います。スタッフの指示は必ず守ってください。
なお、やりたいことなど自分の希望については事前に伝えましょう。

○利用者との「関係づくり」を大切にしよう

利用者との「関係づくり」はボランティア体験においてとても大切です。
笑顔で挨拶を行い、自分の方から積極的に話しかけてみましょう。

○施設のスタッフ、グループのメンバーから話を聞こう

実際の体験を通して、施設・グループ・スタッフ・利用者のことなどで疑問に感じたことは、自分から積極的に質問してみましょう。その活動に関する認識が深まり、人を支援する仕事や活動への理解も深まります。

○自分の「気づき」を大切にしよう

ボランティア体験では、心に余裕を持ち、感受性豊かに自分で「感じる」ことが大切です。ぜひ、様々なことに気づいてください。

③体験が終わったら・・・

○体験を振り返ろう

自分の体験や感じたことを家族や友人に話をしたり、記録にまとめてみましょう。また学校の中でも、他の活動を行った人もいることでしょう。体験を一緒に振り返り、感じたことについて意見を出し合うことでいろいろ刺激があるはずです。自分の体験を言葉や文字にすることで、福祉に対する知識や考え方が深まり、また自分自身のことも気づかせてくれるはずです。

○他の活動もしてみよう

あなたはこの活動でどんなことが楽しかったですか？これからどんなことをしていきたいと思いますか？
この活動を原動力に、他の活動にもチャレンジしてみませんか？
ぜひ、ボランティアセンターにお越しください。お待ちしています。

□「ボランティア活動」とは・・・

●ボランティア活動は、誰でも参加できる日常的な活動で、周囲の人や社会のために自発性にもとづいて行うものです。

●「ボランティア活動の４つの原則」

①自主性、主体性　②社会性、連帯性　③無償性、無給性　④創造性、開発性、先駆性

●ボランティア活動の意義・役割

- 豊かな人間関係と生き方を培っていく
- 色々な人や自然と共生する社会づくり
- 連携と新しいコミュニティの創造
- 活動を通して市民力を高めていく